



今回は、リニューアルした予約型乗合交通「みなモビ」と、村内の買物支援対策についてお伝えします。

Q 予約型乗合交通がリニューアルするにあたっての、村の課題と現状を教えてください。

A まず、村の課題として、村内にスーパーや食料品店が極端に少ないことが挙げられます。そのため、買物弱者や運転免許を返納された村民が安心して生活できよう支援する必要があります。

そこで、これまでも買物支援対策として、スーパー誘致に向けた民間企業との協議を重ねてきました。しかし、本村は複数のスーパーがある高森町と大津町に隣接しており、商圏の面で採算性の確保が難しいことから、誘致には至っていないというのが現状です。

また、既存の乗り合いタクシーは乗降場所が村内と高森町の公共施設の一部のみであったため、買い物を目的とする交通手段としては十分に機能しておらず、利用者の固定化も課題でした。

Q リニューアル後は、何が変わったのでしょうか?

A これまで10年間、予約型乗合タクシーを運行してきました。

たが、その存在や内容が十分周知されていませんでした。今回のリニューアルをきっかけに、より多くの皆さんに利用していただけるよう行政も広く周知するとともに、村民の皆さんの間でも情報拡散をお願いします。

まずは名称を「南阿蘇村乗合タクシー」から「みなモビ」に変更。それに伴い車両のデザインも新調し、村公式キャラクターのブルとミルをラッピングしました。



サードスペースの内容として大きく変わったのは、次の3つです。

- ①平日は高森町3店舗(月曜日・火曜日)および大津町2店舗(水曜日・木曜日・金曜日)のスーパーに乗り入れ
- ②土日祝日は、道の駅あそ望の郷くぎのく中松駅・阿蘇白水温泉「瑠璃」・阿蘇山上ターミナル」のルートが運行
- ③便数：一日往復6便ずつ

・料金：阿蘇山上ターミナルまで乗車の場合、一律1,500円
小学生料金もあります。

③希望する時間に利用可能

平日は買物や通院での利用、土日祝日は観光での利用手段として、これまでより活用機会を増やしていきたいと考えています。ご希望の時間に、自宅または指定した乗車場所に車が迎えに来て、目的地までお送りします。生活の足として、より多くの村民の皆さんに「みなモビ」をご利用いただければ嬉しいです。

Q 買物支援について、今後の動きを教えてください。

A 引き続き、村内の小売店舗や移動販売、宅配サービスへの補助を行い、村民の暮らしを支えていきます。身近な場所での買物ができる環境をつくることは大切で、自宅から出て自分で買物することは、健康づくりにもつながります。また、

買物を通して地域住民が顔を合わせ、交流する機会が増えれば、地域のつながりを育むことにも寄与します。皆さんには、暮らし方に合わせて、「みなモビ」だけでなく、村内のお店やサービスも積極的にご利用いただきたいと考えています。

Q 最後に、村民の皆さんへメッセージをお願いします。

A 高齢化の進展で、生活に不便さを感じる人が多くなったり、新型コロナ蔓延を契機に地域コミュニティが衰退していることに、村長として強い危機感を持っています。

今後、遊休施設の解体なども進めながら、新たな賑わい拠点づくりの一環として、買い物ができる場所や仕組みづくりも具体的に進めていきます。引き続き、村内の需要と供給に見合ったスーパー誘致にも取り組みます。

皆さんには、村の新たな取り組みを知っていただき、日々の暮らしの中で活用しながら、持続可能なサービスへと大きく育てて欲しいと考えています。